

富士通セミコンダクターがフォルテ・デザイン・システムズの SystemC
高位合成ツールを ASIC リファレンスフローに採用
90、65nm に加え新たに 40nm にも使用

カリフォルニア州サンノゼ — 2010 年 12 月 8 日 — フォルテ・デザイン・システムズ (以下フォルテ) はこのたび、富士通セミコンダクター株式会社 (以下富士通セミコンダクター) が 90nm および 65nm のプロセステクノロジーに加え、新たに 40nm の ASIC (Application Specific Integrated Circuit) リファレンスフローでも高位合成ツール Cynthesizer™ を採用することを発表しました。

富士通セミコンダクター SoC ソリューション統括部長 長谷川隆氏は、「フォルテは高位合成ツールのベンダーとしてこれまでその価値を実証してきました。Cynthesizer は当社の内外の設計チームに対して RTL サインオフ用に SystemC ベースの高位合成ツール機能を提供していますが、その品質は当社の厳しい要求を満たし、期待以上の実績を上げています。」と語っています。

Cynthesizer は 40nm ライブラリの高度なプロセステクノロジーを使用した広範囲に及ぶテストを経てその高い品質を証明し、採用が決定されました。世界中で作業を行っている内外の設計チームが、ハンドオフ時の機能検証やタイミング検証に Cynthesizer を使用できます。フォルテと富士通セミコンダクターは最新テクノロジー向けの高位合成ライブラリを共同で開発する予定です。

フォルテ・デザイン・システムズの社長兼 CEO Sean Dart は、「未来を見据えた取り組みを実践されている富士通セミコンダクターと協力できることを大変光栄に思います。市場投入までの時間を短縮し設計品質を向上させるためには、Cynthesizer のような SystemC ベースの高位合成ツールを展開する必要があることを富士通セミコンダクターは早い段階から認識されていました。」と語っています。

➤Cynthesizerについて

フォルテの代表製品である SystemC ベースの高位合成ツール Cynthesizer は 2002 年以來 300 以上の ASIC 実設計やシステム オン チップ (SoC) のテープアウトに使用されてきました。設計者は高位の SystemC 記述を使用してハードウェアの抽象モデルを作成します。Cynthesizer はデータパスとステートマシンを SystemC モデルから自動的に生成します。設計者はレイテンシ、パフォーマンス、面積の制約を指定するディレクティブを様々に変化させることで、候補となる多くの RTL 実装を簡単に生成できます。

➤フォルテ・デザイン・システムズについて

フォルテ・デザイン・システムズ (Forte Design Systems) は抽象度の高い設計を可能にし、設計結果を向上させるソフトウェア製品を提供する先端企業です。フォルテの革新的な合成技術と知的財産の提供により、設計チームは複雑な電子チップやシステムの開発が可能になり、設計および検証に要する時間を大幅に短縮することができます。世界の半導体メーカートップ 20 社の半数以上が、現在 ASIC、SoC、FPGA の設計にフォルテの製品を使用しています。フォルテ本社はカリフォルニア州サンノゼにあり、イギリス、日本、韓国、アメリカに支社を置いています。詳しくはフォルテのホームページ www.ForteDS.com をご参照ください。

* 記載されている会社名、製品名およびサービス名は、一般に各社の商標および登録商標です。

----- 本件に関する報道機関からのお問い合わせ先 -----

フォルテ・デザイン・システムズ株式会社 新井
電話 045-478-2268
E-mail: arai@forteds.com